オオバン　（提供:松本）

大正琴・ベル・朗読劇団

ONE（ワン）ハート

訪問ボランティア通信

2023年10月号
NO 230

本部　0467-79-1379
支部　046-231-3285

10月と今後の活動予定

＊泉正園・道志会で定期自主訪問コンサートがあります。
＊10月20日(金)道志会誕生日会　綾瀬ベル有志
＊10月22日(日)綾瀬福祉まつり　とりベル
＊11月16日(木)五つの輪コンサート　綾瀬ベル有志

本部より

＊10月やっと秋の訪れです。今年の夏は本当に厳しい暑さでしたね。体調は大丈夫でしたか
この秋には通常のコンサートができるのではと期待されている方々もおいでになると伺っています。高齢者施設へは折に触れ連絡をいれていますが第9波やインフルエンザで受け入れて頂けるところは難しい状況です。
日々練習に励みながらこの秋もその日を待ちたいと思います。

ワン♥ハート・スピリッツ琴訪問コンサート

３人で心ひとつになって演奏していますね

長年行ってきた大正琴での訪問コンサートが突然出来なくなりました。新型コロナウイルスという未知の病気が世界中に猛威をふるい全ての動きが止まってしまい、当初はこれから先どうなるか不安で一杯でした。
三年の時を経て、今年から少しづつ行動制限が緩和され、自分たちも動ける様にはなったものの今でも収まった訳ではなくこちらから声を掛ける事をはばかられていました所先生より道志会と泉正園のスケジュールを出して頂き６，７月と訪問してきました。
メンバー３人でプログラムを決め、練習時間を増やしたり以前の事を思い出したりしながらも楽しい時間を持てました。これまでも何回も行っている両施設です。
４年ぶりで緊張しながらのスタートでしたが大きな声で歌って頂いたり皆さんの笑顔にこちらが元気をもらって終わることが出来ました。
この３年間で体の衰えと気力の無い日々でしたが、もうひと頑張りしなければと思うこの頃です。（島西　英子）

琴を始めて２３年になります。趣味として自分一人でやっていたらこんなに長く続いていなかったかもしれません。先生のご指導や心強い仲間、そして高齢者施設のコンサートでは温かい拍手と笑顔に励まされここまでやってこれたのだと思います。
歳とともに判断力や指の動きが鈍くなってきましたが、これからも一日一日を大切に出来る範囲で頑張っていこうと思います。（若月　百合子）

この頃思う事がやっと自然に行動できるようになり、高齢者施設ボランティア活動もはじまり顔なじみの人を見てホッとしました。最近「１０２歳一人暮らし」の本を読みました。それは日記になっていて、毎日無理せず自然に生き、人を頼り感謝する生活、可愛いおばあちゃんの話でした。私も色々な事にチャレンジして続けられたのは、仲間との良い関係が出来ているからだと思います。今日行く所があり、やれる幸せ!感謝しなくてはと思いつつ忘れがちです。
いつまでも無理しない程度のメリハリのある日常が続けられたらいいなと思っています。（大内　とし子）

ワンハート・スピリッツ琴訪問コンサートプログラム

１，琵琶湖周航の歌	４、君こそわが命	７，サザエさん	１０，雨降りお月
２．見上げてごらん夜の星を	５．瀬戸の花嫁	８．花笠音頭	１１．ふるさと
３．ウナ・セラ・ディ・東京	６．巨人の星	９．浜千鳥	１２．逢えてよかった

綾瀬ベル訪問コンサート

５月３０日（火）ベルで泉正園を訪問致しました。
今年からワン♥ハートの毎月訪問が恒例となりました。
利用者の皆さんは毎回楽しみにお待ち頂いているようで席につかれる時からニコニコ笑顔で、嬉しい限りです。
演奏と体操を交えて１２曲。
毎回いろんな構成を考えますが、今回は初めて利用者さんを３グループに分けて「カエルの歌」の輪唱を試みました。
皆さん真剣な面持ちで歌って下さり最後は安心したように大拍手でした。また「黄色いサクランボ」を大合唱。
アッハンとかウッフンとか恥ずかしがりながらも発していました。

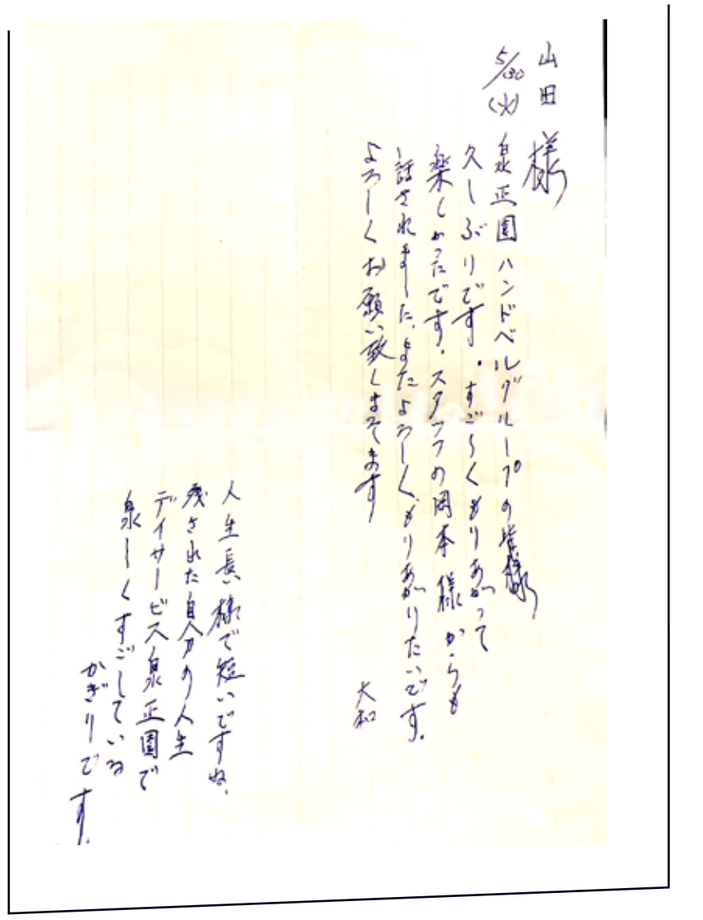
利用者さんに喜んで頂くのは勿論ですが、いかにして自分達も一緒に楽しめるかと工夫を重ねています。

数日後、利用者さんからお手紙を頂きました。
「盛り上げてもらいありがとう。」と。。。。
それはこちらこそです。と言いたいです。

また楽しんで頂けるような事を考えてお伺いしたいと思います。

（綾瀬ベル　山田伊津美）

泉正園コンサートプログラム

1. 青い山脈	8. 茶摘み体操
2. 高原列車は行く	9. しゃぼん玉
3. 港が見える丘	10. 上を向いて歩こう
4. 四季の歌	11. 恋の季節
5. 雨降りお月	12. 黄色いサクランボ
6. あめふり	13. 瀬戸の花嫁
7. かえるのうた	14. バラが咲いた

みなさんが楽しんでいる様子が伝わってきますね